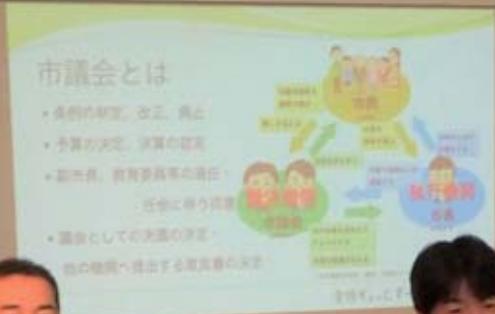


びがいのトビラ



羽村市議会タウンミーティング



【特集】市議会タウンミーティング

P2

- 29年度決算審査 P 4
- 審議した主な議案
 - 市長提出議案 P 10
 - 議員提出議案 P 11
 - 議決結果一覧 P 12
- 市政について問う
 - 《一般質問》 P 14
- 議員活動アルバム P 22
- 議会活動報告 P 23

No.122
 平成30年(2018年)
 11月1日発行
 (通巻231号)



市議会タウンミーティングを開催しました

テーマ

議会報告会開催のために、これまで議会改革推進委員会で検討を重ねて来ました。その結果、

1. わかりやすい情報の発信
2. 市民の皆様との意見交換
3. 議会を身近に感じていただく

この3つの目的を掲げ、7月7日ゆとろぎで議会報告会をタウンミーティングとして開催しました。

子育て一番のまちをめざして

羽村市の子育ての現状と課題について説明しました。

羽村市の将来にとって、

「子育てしやすい街づくり」は、
きわめて大事な課題

市民が主体となった多彩な活動

- ・読み聞かせサークル
- ・プレーパークの会
- ・地区委員会の行事
- ・夏休み宿題おたすけ塾 など



◀当日使用したパワーポイントの一部

羽村市の子育て支援策は、全国2位という発表もあります(日経BP総研ランキング)。しかし、少子化の進行は急速で、「より子育てしやすい街づくり」は、羽村市にとってきわめて大事な課題です。他自治体の取り組みから学ぶこと、市民の要望・アイデアを一つ一つ実現していくことが欠かせません。また、行政だけでなく、市民との協働、事業者との協力も不可欠です。子育て一番の街を目指して、市民みんなで力を合わせていきましょう。



【表紙の写真】市議会タウンミーティング(平成30年7月7日撮影)

子育て・孫育て・みんなで考えよう



報告「議会とは？」

市民の皆さまに、もっと市議会を身近に感じてもらうため「羽村市議会って？」と題し、市議会の仕組みや、議会の構成などについてパワーポイントで詳しく説明しました。

議員には、議決権・調査権・監査請求権などいろいろな権限があります。条例の制定や改正、廃止を決定したり市の予算・決算を審査したりしています。議員の定数は18人、現在の市議会の構成年代は40歳～70歳代です。常任委員会・特別委員会などにそれぞれ属しています。議員報酬は都内26市中、現在最も低い26位です。



グループワーク

市民と議員が2つのグループに分かれてディスカッションし、子育て世代・孫育て世代から意見が出されました。

誰もが必ず通う『学校』。年代が変われば、経験も期待も信頼も変わり、意見もさまざまでした。

A
グループ

- ゲーム機が問題だ。
- IT化が進んでいるのだから、教育の中に組み込んでいけば効果があるのでは。
- 学校は楽しくあってほしい。そのためには、教師任せではなくサポートが重要では。
- 授業の作りからも難しく、先生が大変そうだ。
- 親同士のつながりを作っていくことが大事だろうが、名簿がない。
- 子どもから友達の名前が出てくると、安心する。
- PTA、地区委員会でさまざまな行事が行われているが、子どもは休めているのだろうか。



B
グループ

少子化、保育園、町内会の活動など、子育て環境について皆さんが日ごろ感じていることが発表されました。

- 昔は布団の持ち帰りなど大変だったが、今は改善され、子どもの人数による保育料の減免など条件も良くなり、子育て環境も整ってきている。しかし、少子化が収まらないのはどうしてなのか？
- 町内会の有志で、お年寄りなどへ手助けやお話を聞く「おせっかい訪問」活動を行っていて、大変喜ばれている。子育てについても、そのような活動ができるとよい。
- 羽村市は、自然環境が良いのに、外で遊んでいる子どもたちをあまり見かけない。
- 保育園が駅の近くにあると助かるのでは。
- 保育料は改善されているが、まだ高いと感じている人はいる。



これらの意見を今後の議会活動に活かしていきたいと思います。
タウンミーティングに関する皆様からのご意見をお寄せください。

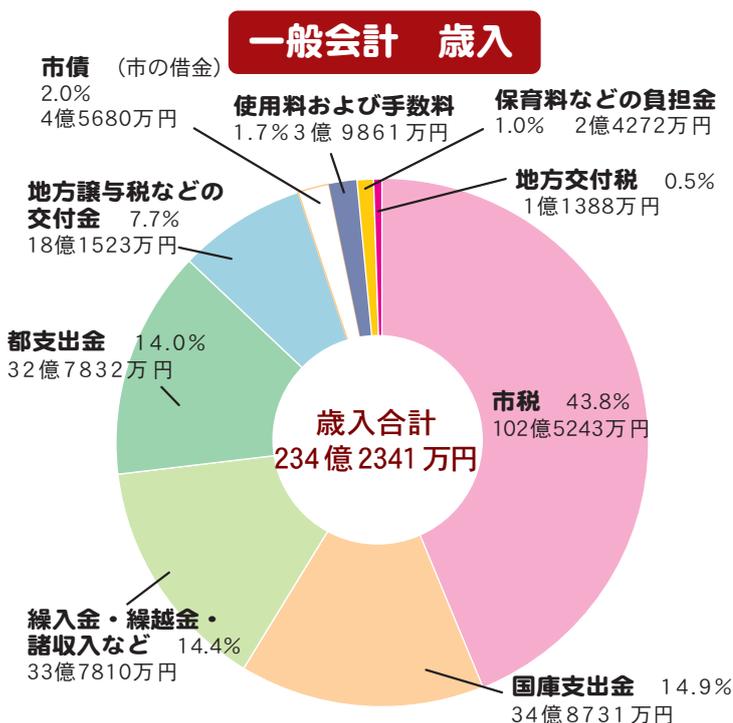
9月18日～20日の3日間にわたり、平成29年度一般会計等決算審査特別委員会を開催しました。

(橋本弘山委員長、西川美佐保副委員長)

決算審査では、市長から提出された前年度の一般会計と5つの特別会計、水道事業会計の決算の認定に係る議案について、予算の執行が適正かつ効果的・効率的に行われたかなどを審査しました。

その結果、すべての会計の決算を可決すべきと決定しました。

この特別委員会の審査結果を最終日の本会議に報告し、7つの会計すべてを原案のとおり可決しました。特別委員会での審査の概要をお知らせします。



■平成29年度一般会計歳入の概要 前年度比は0.6%増

一般会計の歳入総額は、都支出金や地方交付税の増額などにより、前年度に比べて1億3008万円(0.6%)の増額となりました。

主な財源である市税は、102億5243万円で、前年度と比べ1億5071万円の減額。歳入全体に占める割合は43.8%で、前年度より0.9ポイント下がりました。

■平成29年度会計別決算状況■

(単位：万円)

区分	予算現額	歳入決算額 (実際の収入)	収入率 (予算現額に対する実際の歳入の割合)	歳出決算額 (実際の支出額)	執行率 (予算現額に対する歳出の割合)	歳入歳出差引額	
一般会計	2,347,070	2,342,341	99.8%	2,288,945	97.5%	53,396	
特別会計	国民健康保険事業会計	717,747	740,774	103.2%	707,739	98.6%	33,035
	後期高齢者医療会計	117,489	117,841	100.3%	116,109	98.8%	1,732
	介護保険事業会計	374,877	355,407	94.8%	331,845	88.5%	23,562
	福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業会計	101,667	93,919	92.4%	86,479	85.1%	7,440
	下水道事業会計	116,872	116,436	99.6%	115,055	98.4%	1,381
水道事業会計	収益的収入	114,273	114,013	99.8%	—	—	収益的収支
	収益的支出	89,218	—	—	87,618	98.2%	26,395
	資本的収入	10,448	10,448	100.0%	—	—	資本的収支
	資本的支出	60,296	—	—	57,820	95.9%	△47,372

平成 29 年度決算を

認定

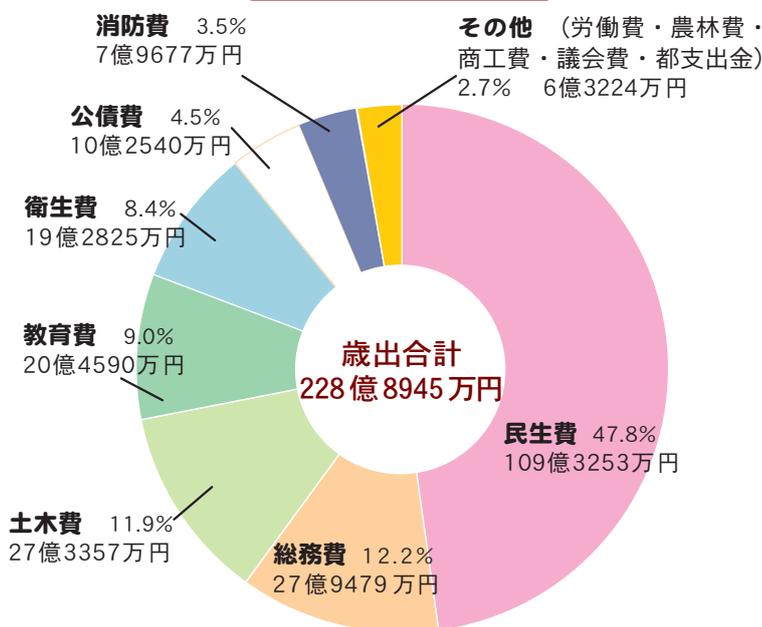
一般会計 歳入決算額 234 億 2341 万円
歳出決算額 228 億 8945 万円

経常収支比率*が 2 年連続で 100% を超え財政が硬直化
財政運営の改善を求める意見が多くありました

■平成 29 年度一般会計歳出の概要 前年度比は 0.8% 増

一般会計の歳出総額は、私立保育園保育委託料や障害福祉サービス費などの扶助費、動物公園改修工事などの普通建設事業費、羽村駅西口土地区画整理事業会計への繰出金の増加などにより、前年度に比べて 1 億 8606 万円（0.8%）の増額となりました。

一般会計 歳出



※経常収支比率…一般財源に占める経常的な支出（人件費、扶助費、公債費など）の割合。数値が高いほど財政が硬直化している。

平成 29 年度の主な施策

こんなことにお金を使いました

子ども

- 子育て世代包括支援センター「羽っぴー」の設置

オリンピック・パラリンピック

- 気運醸成、市民意識の高揚を図る取り組みの実施

福祉・健康

- 第五次羽村市地域福祉計画、高齢者福祉計画及び障害者計画などを策定
- 成年後見制度利用支援機関を社会福祉協議会に委託し設置
- 3～4 か月児健診に臨床心理士を配置

市民生活・産業

- 防災マップの改訂
- 羽村駅西口への観光協会の事務所移転を支援

行財政運営

- コンビニ証明交付サービスの導入
- シティプロモーションの実施

環境・都市整備

- 街路照明灯のLED化
- 低炭素化設備などの普及促進
- 羽村駅自由通路拡幅工事の着手

公共施設整備

- 小中学校トイレ洋式化工事

一般会計歳入

質疑

Q 市民税の法人分が前年度に比べて約1億円減少している理由は。

A 市内事業所の大規模な設備投資や新製品の開発費、広告宣伝費や円高などによる、営業外収益の減少等に伴うものである。

Q 市税の構成比が43・8%であるが、26市中高い方から何番目か。また、26市の平均は。

A 羽村市の順位は16番目。市税の26市の構成比の平均は45・5%。
Q 円高による企業への影響などは、企業訪問などを通して状況を把握してはどうか。

A 今年度から産業企画課が設置された。情報交換を行い、市内企業の状況が税収にどう反映するか、検証していきたい。

Q 昨年度も活動していた「プラチナ未来スクール」の費用が、本年度決算で初めて多摩・島しょ広域連携活動助成金として計上されている理由は。

決算審査特別委員会での質疑応答の一部をお伝えします。
※発言・内容は要約しています。



A 多摩・島しょ広域連携活動助成金の交付ルールの変更によるもの。平成29年度から連携事業体の幹事市の歳入として処理することになったため。

Q ふるさと納税の羽村市への寄付額は66万4千円。逆に他自治体への寄付額と、市税への影響は。

A 他自治体への寄付額は717万2千9百円。税控除対象外もあり、市税への影響は、310万7千8百円の減少。

Q 市債と基金の割合は。26市中の順位は。

A 市債残高に対しての基金残高の割合は29・6%。26市の平均は39・6%なので平均より低いため割合をあげていきたい。

一般会計歳出

くらし

Q 市役所の土日開庁に要する費用はどれほどか。コンビニ収納など納税環境が改善されている。土日のどちらから1日とすべきではないか。

A 光熱水費が約500万円、臨時職員人件費が約100万円。代休代替の職員人件費を含めると人件費は532万円となる。業務改善は、常に検討している。

Q 神明苑という建物はなくなっている。コミュニティバスはむらんのバス停「神明苑」は、名前の変更とともにネーミングライツの活用を。

A 名前の変更は検討中。ネーミングライツについては、停留所全体として進めていく。

Q 市民活動情報紙「きずな」の配布費用が昨年度の約4倍になっている理由は。委託先、配布部数、付帯条件は。

A 新聞折込から全戸配布に変更したため。シルバー人材センターに委託し、2万5900部を全戸配布し、広報はむらと同時配布が条件である。

Q 街路照明の電気料は、LED灯に交換したが、前年度より約200万円増えている理由は。

A 燃料費の値上がりによるもの。LED効果は、毎年度200万円である。



Q 原動機付自転車のオリジナルナンバープレートを作成費用は。ナンバープレート1枚383円で作成。

A 動物公園の入り口はデザインを重視した形にしており、時計を設置する計画はない。

Q 堰下レクリエーション広場の駐車場はどうなったか。設置に向けて検討中である。



▲新しくなった動物公園入口

子ども

Q 子育て世代包括支援センター「羽っぴー」が開設された。1回の相談時間はどの程度で、支援プランは状況変化に応じ、適宜見直されていくのか。

A 相談時間は平均20分。多い方で60分。支援プランは状況変化により見直し、切れ目のない支援をつなげている。

Q 乳児家庭全戸訪問は、98・9%の訪問率となっているが、訪問の同意が得られなかった家庭への支援はその後、適切に行われたか。

A 月2回のカンファレンスを行い、その中で他の課題も確認しながら支援につなげるよう図っている。

Q 子育て支援事業に要する経費の委託料37万8千円が28年度と比較して倍になっている。システムの内容と増額の理由は。

A 子ども家庭支援センターで受ける虐待相談に対するシステム。28年度は保守委託料が半年分の支出であったが、29年度は1年間の支出となったため。



▲保健センター内に開設された羽っぴー



▲作成されたピースメッセンジャー報告書

福祉

Q 市の財政を考え、敬老のつどいの演芸は、毎年タレントを呼ぶのではなく、子どもたちの合唱などの年があっても良いのでは。

A 重要な事業だが、開催内容については今後検討する。

平和

Q ピースメッセンジャー事業が充実してきたが、報告書の作成部数と配布先はどこか。

A 400部作成し、羽村・青梅市内の小中学校、広島市の関係先、都内自治体の平和事業担当者等に配布している。

安全・安心



▲羽村駅付近の駐輪場



▲イチョウの根の盛り上がり
が修繕された道路



▲スイミングセンター

Q 自転車利用に関する諸問題を総合的に検討するため、「羽村市自転車利用の総合対策に関する検討委員会」を設置したが、具体的にどのようなことを検討し、方向性はどのようなものか。

A 駐輪場の確保やヘルメットの着用など、自転車利用に関するさまざまな問題点について検討し、33の施策をまとめて報告書を作成した。

Q 街路樹であるイチョウの根によって、歩道が盛り上がり危険であるが、どのように改善したか。

A 危険箇所は順次修繕している。今後、道路の改修にあわせ、改善していく。

Q 小作駅舎の施設が雨漏りしている。随時修理されているが、大規模な修繕が必要ではないか。

A 平成26年度に点検し、次は31年度に点検予定。その際、再度確認し、対応方法を検討していく。

Q スイミングセンターのロッカーの不具合は改善されたか。

A 平成29年度に半分改修し、30年度で残りを改修した。

Q 背泳ぎ用の標識は改善されたか。

A フラッグを立てることで改善した。

消費生活

Q 商店の閉鎖などにより買い物に不自由している消費者がいる。対策は。

A 商工会と連携して行っている「買い物代行サービス」はむらいの市場」の制度をより充実し、利便性の向上を図っていく。

一般会計歳入歳出 決算に対する意見

意見

委員会では、議題となっている案件についてひとつおりの質疑を行った後に、賛成か反対の意見を述べます。

日本共産党 区画整理へ7億2600万円の繰出しは認めない

反対

さまざまな施策の前進が認められた一方で、羽村駅西口土地区画整理事業への繰出金、土地権利者の会補助金の支出は問題であり、認定できない。

行財政改革を進め、経常収支比率の改善に努め、市民サービスの削減につながらないよう努力すべきである。

新政会 行財政改革のさらなる取り組みを期待する

賛成

市税収入が大幅に減少し、経常収支比率が2年連続で100%を超えるなど、厳しい財政状況の中、第五次長期総合計画の後期基本計画に掲げた事業に積極的に取り組んだ。

これまで以上に行財政改革の取り組みを強力に実行し、より一層、効率的な行財政運営に努めながら、市民福祉の向上に取り組んでいただきたい。

世論 行財政改革を進めても財政の改善が見られない

反対

経常収支比率105.8%は全国2位の高い率。人口減少時代に370億円の区画整理を最重要課題とする市政に矛盾がある。

シティプロモーションを進めても成果が不明であり、「にぎわい音楽祭」も見直しが必要。

土地権利者の会の豊田駅南口区画整理視察は事業計画を見直した件を聞いておらず、視察の意味がない。以上のことから認定できない。

市民ネットワーク 厳しい財政運営の中、区画「いきいき広場」整理への支出は認めない

反対

市民税が大きく減収となり、経常収支比率は105.8%まで悪化した。大変厳しい財政運営の中で、羽村駅西口区画整理事業に7億2600万円を支出したことは認められない。コンビニ支払いなど納税環境が整い、市役所の土日開庁での収納額は半減している。1日開庁にするなど、業務改善が必要である。

公明党 大規模な行財政改革の断行で安定した行財政運営を

賛成

市税の減少が見られる厳しい財政の中で、市民サービスを損なうことなく事業の執行をしたものと認識する。

今後も社会保障費の増や公共施設の維持管理、インフラ整備、防災・減災対策等の経費が継続・増大することは明確である。大規模な行財政改革の断行で安定した財政運営を図り、さらなる事業・施策の充実を望んで賛成する。

国民・立憲の会 積極果敢に事業を実施したことを評価

賛成

年度途中で歳入不足を補うために財政調整基金を取り崩し、臨時財政対策債も発行。経常収支比率も105.8%と悪化した。経常的歳入で経常的支出を賄えるよう財政構造を変えていく必要がある。子育て環境整備促進、都市基盤整備推進、使用料見直しがはかられたことは評価できる。安定的な財政運営を早期に確保することを望み賛成とする。

新しい風 重要施策を限られた予算で着実に実行した

賛成

大手企業の収益悪化などで市税収入が低迷し、厳しい財政状況の中、自主財源の確保と経費の削減に努めたことは大いに評価できる。

動物公園改修工事の着手、羽村駅西口土地区画整理事業、羽村駅自由通路店舗移転などの重要施策が着実に実施された。経常収支比率105.8%と財政硬直化の課題もあるが、行財政改革をさらに進めることを期待する。

質疑

特別会計歳入歳出・水道事業会計

国民健康保険事業

Q 国民健康保険事業会計への市からの繰入金が少なくなると保険税が上がってしまう。今後どうなるのか。

A 都からは繰入金をゼロに近づけるよう指示があるが、市の負担増とならない程度に繰り入れは続けていく。

介護保険事業

Q 生活支援サポーター研修は、どういった研修を受けたか。

A 2日間コースで計11時間の研修。市の職員からの講義と日本ホームヘルパー協会の講師を招いて講義と実技を行った。

西口土地区画整理事業

Q 都市づくり公社への業務委託の内容は。

A 優先整備地区の建物移転と平成30年度の移転に向けた建物調査の補償業務、区画道路の整備や

擁壁工事などの工事業務である。

Q 民間工事でも家屋解体工事で騒音・振動規制法など法令順守を確保したはずだが。

A 権利者と解体事業者との契約だが、区画整理施行者の責任として事業者に対し、法令順守を口頭で伝えている。



▲川崎一丁目の区画道路整備

下水道・水道事業

Q 水道事業と下水道事業の連結決算の動きは。

A 地方公会計の整備促進の取組みで、一般会計、特別会計、水道事業会計を含めた財務書類を作成している。平成32年度以降は、下水道事業会計も含めた市全体の財務書類を作成していく予定。

意見

羽村駅西口土地区画整理事業会計歳入歳出決算に対する意見

日本共産党

負担の少ない計画に見直すべき

事業費は12・0%増の約6億2千万円になり、突出して大きな額となり、聖域のごとく執行されている。市民負担が少ない、お金のかかりすぎないまち作り計画に見直していくことが必要。市民の生活に直結した他の予算を削っていくことは、順番が違い、市民の理解が得られるものではないと考える。

反対

新国会

着実な事業の進捗を認識

建物の移転や区画道路の整備等、新国会として現場視察を行ったが、計画通りハード整備が進んでいることを確認した。市の将来にとって重要な事業であり、都市基盤の充実を図り、安全・安心で災害に強いまちの創出を目指して事業を推し進め、一日も早く、完了することを希望する。

賛成

新しい風

円滑な事業推進を期待する

平成27年度から4つの優先整備地区が設定され、移転等の具体化や工事を実施している。工事は、公社に業務委託しているが、今後も調整作業に取り組み、事業の円滑なる推進を期待する。補助金など特定財源の確保に最大の努力を払い、市の財務を圧迫しないよう、施工実施進捗計画を図ることを要請し、賛成。

賛成

世論

現道を活かしたまちづくりを

通常工程で79年。集団移転で30年に短縮したが、国、都が認めていないため、事業の見直しが必要。都市計画道路3・4・12号線に高架橋やモノレールの事業計画は無く、擁壁工事は不要であった。移転交渉も市長の掲げる協議移転に反している。家屋解体も業者に法令順守を指導監督すべきである。

反対

羽村駅西口土地区画整理事業会計については4件の意見があり、その他の会計については、賛成・反対の意見はなく、全会一致で認定されました。

議案審議

■ 9月定例会に市長から提出された議案は、決算認定7件、条例に関する議案3件、補正予算に関する議案7件、その他の議案3件の合わせて20件でした。

すべてを認定・可決・同意しました。

■ 議員提出議案は、意見書2件を可決しました。

■ 審査した陳情3件は、継続審査、趣旨採択、不採択となりました。

主な議案の概要は次のとおりです。



市長提出議案

■ 新たに「羽村市地域包括支援センターあかしあ」を設置

羽村市地域包括支援センター条例の一部を改正する条例

地域包括支援センターが、市直営1か所、委託型2か所体制から、委託型3か所体制にすることに伴い、条例の一部を改正するものです。

羽村市地域包括支援センターを削除し、新たに設置する「羽村市地域包括支援センターあかしあ」の名称及び位置を追加し、それぞれの担当区域を改めます。

【施行日】 平成30年10月1日
【議決結果】 原案可決

質疑

Q 三つの担当区域はどのようになっているか。町内会が分かれることはないか。

A 基本的に町丁目で区分けしている。一部、町内会をまたがっている所もある。



▲あかしあの里内に設置された「地域包括支援センターあかしあ」



Q センターまで距離がある地域にとって、利便性の点で問題になることはあるか。

A 来所が困難な場合は、訪問対応も可能である。

Q 市民等への周知はどのように行っていくか。

A 広報はむら、市公式サイトのほか、医療機関、介護事業所にも周知していく。民生委員、友愛訪問員、高齢者クラブ、町内会・自治会長などにも周知していく。

■被災者一時宿泊所の廃止

羽村市被災者一時宿泊所条例の一部を改正する条例

老朽化が進んだことや、使用頻度が少ないことから羽村市第一被災者一時宿泊所を廃止することに伴い、条例の一部を改正するものです。

【施行日】 平成30年10月1日

【議決結果】 原案可決

■教育委員会教育長の任命

教育委員会教育長の任期満了に伴い、議会の同意を求めるものです。

【氏名】 桜沢 修氏

【任期】 平成30年10月1日～平成33年9月30日

【議決結果】 原案同意

■損害賠償額の決定について

平成30年6月29日、市が管理する樹林地内の樹木の倒木により、隣接する住宅の屋根を損傷させたことによる損害賠償額160万3171円についての決定。

【議決結果】 原案可決

質疑

Q 当該地以外の樹木の点検などは行っているか。近隣住民への対応はどのようなしているか。

A 市の公園、緑地、樹林地等は総点検し、剪定等を行う予定。近隣の方にも説明を行っていく。

質疑とは…

本会議や委員会で議題となっている議案について、議員が疑問をただし、提案者に説明や見解を求めることです。

※内容は要約しています。
詳細はインターネット録画中継
(9月4日・11日・28日分)
または会議録をご覧ください。
▼インターネットで会議録を「ご覧になる場合は、「羽村市議会」↓「会議録の検索と閲覧」↓「平成30年第3回定例会」

議員提出議案

CV-22オスプレイの 横田基地への配備に対する意見書（抜粋）

可決した2件の意見書は、内閣総理大臣および関係省庁の大臣に提出しました。

日本政府は8月22日、アメリカ空軍の輸送機CV-22オスプレイ5機を本年10月1日に横田基地に配備する旨、在日アメリカ軍から連絡があったことを発表した。さらに2024年頃までに、あわせて10機の体制にする計画で、今後、段階的に5機を追加するということである。

しかしながら、一時的に立ち寄っているCV-22オスプレイ5機は、今年の6月以降、現在まで既に長期間留まり、10月配備とは別に、なし崩し的に飛行訓練が繰り返されているのが現状である。最近では昼夜を問わず独特なエンジン音を響かせ、市内上空で低空飛行を繰り返している。過去の墜落事故やトラブルが脳裏をよぎり、羽村市民からは不安の声が上がっている。今後、正式に配備されることとなれば、この飛行訓練は常態化することが懸念される。よって、羽村市議会は10月1日の配備に対し、過去のオスプレイの事故の徹底した原因究明と再発防止策及び安全性の確認を求める。そのうえで、飛行を最小限にとどめること、夜間飛行及び編隊飛行の中止、事前の情報提供、安全対策、飛行騒音等、生活環境への配慮を強く求めるものである。

平成30年9月4日
東京都羽村市議会議員 馳平耕三

【提出先】

内閣総理大臣、外務大臣、
防衛大臣、防衛省北関東防衛局長、
防衛省北関東防衛局横田防衛事務所長

児童虐待防止対策の

さらなる強化を求める意見書（抜粋）

本年3月、都内目黒区において両親から虐待を受け女兒が死亡するという痛ましい事件が発生した。このような虐待事件は近年急増しており、平成28年度、全国の児童相談所に寄せられた児童虐待相談件数は12万件を超え、5年前と比較し倍増している。

虐待から子どもの命を守るためには、子どもの異変に早期に気づき、虐待の芽を摘むことが何よりも重要であり、そのためには児童相談所のみならず関係機関や民間団体等が協働し、虐待の防止に取り組むことが必要である。

よって、政府においては、こうした痛ましい事件が二度と繰り返されないためにも、児童虐待防止対策の抜本強化に向け、下記の事項に取り組むことを強く求める。

1 平成28年度に政府が策定した「児童相談所強化プラン」を拡充し、市町村における児童虐待防止体制

の強化プランを新たに策定するとともに、地方交付税を含めた必要な財源措置を速やかに講ずること。

2 児童相談所間および児童相談所と市町村の情報共有については、仮に転居等があったとしても、危機感や支援状況が確実に迅速に引き継げるよう、引き継ぎの全国共通ルールを定めるとともに、全国からアクセスできるシステムを整備すること。

3 児童相談所全国共通ダイヤル「189」の更なる周知を図るとともに、児童相談所につながるまでに数分かかっている事態を早急に改善し、通報しやすい体制を整えること。

平成30年9月28日

東京都羽村市議会議員 馳平耕三

記

【提出先】

内閣総理大臣、厚生労働大臣
文部科学大臣、総務大臣、国家公安委員長

議員提出議案の議決結果

議員提出議案	議決結果
CV-22 オスプレイの横田基地への配備に対する意見書 P 11 参照	原案可決
児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書 P 12 参照	原案可決

陳情の審査結果

陳情	審査した委員会	本会議での賛否									議決結果	
		会派名(数字は人数)										
		新	公	民	風	共	ネ	21	リ	世		
「可燃ごみの共同処理に関する検討結果報告書」の再検討を求める陳情書	厚生	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	継続審査
臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書	厚生	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	趣旨採択
公益財団法人東京都都市づくり公社への、土地区画整理事業施行に伴う建築物等評価委員会委員(無報酬職員)の推薦依頼及び公社職員の勤務形態に関する陳情書	経済	×	×	×	×	□	□	□	×	□	□	不採択

凡例

■各会派の賛否 ■ 議案 / ○…賛成 ×…反対 △…修正案に賛成 欠…欠席
 ■会派名 ■ 新…新国会 公…公明党 民…国民・立憲の会 風…新しい風 共…日本共産党
 ネ…市民ネットワーク 「いきいき広場」 21…羽村 21 リ…リフレッシュ羽村 世…世論
 □…趣旨採択 *…継続審査

■市長提出議案の議決結果

<全会一致となった議案>

議案	議決結果	議案	議決結果
羽村市議会議員及び羽村市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例 公職選挙法の一部を改正する法律の施行に伴い、条例の一部を改正する。	原案可決	平成30年度羽村市福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ74,399,000円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ1,262,977,000円とする。	原案可決
羽村市地域包括支援センター条例の一部を改正する条例 地域包括支援センターを市直営1か所及び委託型2か所体制から、委託型3か所体制とすることに伴い、条例の一部を改正する。		平成30年度羽村市下水道事業会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ13,806,000円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ1,320,019,000円とする。	
羽村市被災者一時宿泊所条例の一部を改正する条例 羽村市第1被災者一時宿泊所については、老朽化が進んでいること、使用頻度が少ないことなどから、施設を廃止することとしたことに伴い、条例の一部を改正する。		平成30年度羽村市水道事業会計補正予算（第2号） 【収益的収入及び支出】 （収入）680,000円を増額し、予算額を1,131,771,000円とする。 【資本的収入及び支出】 （支出）16,220,000円を増額し、予算額を746,847,000円とする。	
平成30年度羽村市一般会計等補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ560,600,000円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ23,067,500,000円とする。		平成29年度羽村市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について 地方公営企業法第32条第2項の規定に基づき、議会の議決により利益剰余金を処分する。	
平成30年度羽村市国民健康保険事業会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ333,811,000円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ6,290,140,000円とする。		教育委員会教育長の任命について 教育委員会教育長の任期満了に伴い、桜沢 修氏を任命したいので、議会の同意を求める。 【任期】平成30年10月1日～平成33年9月30日	
平成30年度羽村市後期高齢者医療会計補正予算（第1号） 歳入歳出それぞれ20,712,000円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ1,222,412,000円とする。		損害賠償額の決定について 平成30年6月29日、市が管理する樹林地内の樹木の倒木により、隣接する住宅の屋根を損傷させたものの損害賠償額。	
平成30年度羽村市介護保険事業会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ238,792,000円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ3,683,755,000円とする。			

平成29年度決算		会派名（数字は人数）									議決結果
		新	公	民	風	共	ネ	21	リ	世	
		(4)	(4)	(2)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	
一般会計歳入歳出決算		○	○	○	○	×	×	欠	○	×	認定
特別会計	国民健康保険事業会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	認定
	後期高齢者医療会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	認定
	介護保険事業会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	認定
	福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業会計歳入歳出決算	○	○	○	○	×	×	欠	○	×	認定
	下水道事業会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	認定
水道事業会計決算		○	○	○	○	○	○	欠	○	○	認定

会派名簿

<p>新政会</p> <p>いんなみ しゅうた 印南 修太 とみまつ たかし 富松 崇 はしもと ひろたか 橋本 弘山 たきし まよしお 瀧島 愛夫</p>	<p>公明党</p> <p>なかじま まさる 中嶋 勝 とみなが のりまさ 富永 訓正 にしがわ みさほ 西川美佐保 いしい ひさお 石居 尚郎</p>	<p>国民・立憲の会</p> <p>おおつか 大塚あかね はせひら 耕三 馳平</p>	<p>新しい風</p> <p>たかだ かずと 高田 和登 こみや くにあき 小宮 國暉</p>	<p>日本共産党</p> <p>はまなが しゅん 浜中 順 すずき たくや 鈴木 拓也</p>	<p>市民ネットワーク「いきいき広場」</p> <p>もんま ひでこ 門間 淑子</p>
		<p>羽村21</p> <p>みずの よしひろ 水野 義裕</p>	<p>リフレッシュ羽村</p> <p>はまなが としお 濱中 俊男</p>	<p>世論</p> <p>やまさき よういち 山崎 陽一</p>	

◆会派とは、政治上の主義や政策が同じ議員の集まりで、議会活動を行う上での基礎となります。

一般質問

一般質問とは、市が実施している施策全般についての議員の質問です。
 第3回定例会では、16人の議員が、
 9月4日、6日、7日の3日間にわたり
 一般質問を行いました。
 その要旨をお伝えします。
 ※原稿は、議員自身が要約し作成しています。



《Q》「子どもの貧困対策」施策の位置づけを！ 《A》 実情に即した計画を策定していく

大塚 あかね 議員（国民・立憲の会）



全ての子どもを 大切にすまちづくり

羽村市が「子育てしやすいまち」であることは重要なことであるが、子どもが「育ちやすいまち、大切にされるまち」であることはさらに重要なことではないか。
質問 乳幼児期からの支援が大事と言われている。子育て世代包括支援センターに、※保育ソーシャルワーカーの配置を検討しては。
市長 幼稚園・保育園等巡回相談事業に同行している職員が、保育ソーシャルワーカーの役割を担っている。
質問 次期「子ども・子育て支援事業計画」に「子どももの貧困対策の推進に関する法律」第4条に基づく施策を位置付けてはどうか。

市長 「子どもの貧困対策」に対し、市の実情に即した計画を策定していく。
質問 「子ども条例」（仮称）の策定を検討しては。
市長 制定は考えていない

が、次期「子ども・子育て支援事業計画」に国連の「児童の権利に関する条約」に日本が批准していること、子育て支援施策は条約の精神に則っていることを記述することを検討していく。
土のラステーションの設置を望む

質問 浸水被害等に備え、身近な場所に土のうの備蓄拠点を作り、市民が利用しやすい体制をとってはどうか。
市長 必要な対策である。防災マップへの掲載も含め、災害に備えていきたい。



文京区土のラステーション

※保育ソーシャルワーカーは子どもの発達促進に係る環境づくりや家族・保護者に支援を行う役割を担う



《Q》 経常収支比率を100%にするために必要な額は

《A》 歳入の増加・歳出の削減両面の対策で5億円が必要

瀧島 愛夫 議員（新国会）



羽村市の行財政改革全般について

質問 現下の市の財政状況をどの様に分析しているか。

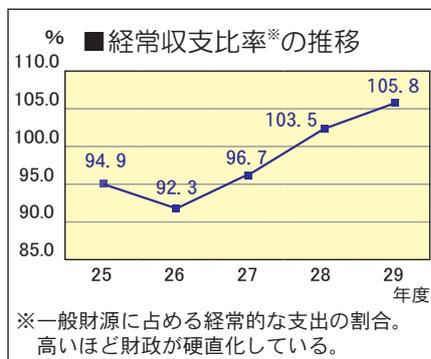
市長 市民税法人分の大幅な減少、児童福祉費をはじめとした扶助費の大幅な増加など、経常経費が増加し、資金不足のため基金の取り崩しが増え、基金残高が大幅に減少している等、市の財政は厳しい状況にあると認識している。

質問 平成30年度の経常収支比率が104.9%との発言があり、100%に戻すには歳入歳出の見直しでどれだけの額を削減すべきなのか。

市長 歳入の増加、歳出の削減の両面の対策で、約5億円の改善が必要となる。

質問 健全財政を取り戻すために、更なる行動を起こすべきと思うが何をすべきか。

市長 現在全庁的に取り組んでいる「行政のスリム化に向けた全事務事業の点検・見直し」を実施し、健



全で安定的な財政運営に努めていく。

質問 今回の見直しで人件費は聖域なのか。

市長 新たな定員管理計画の策定などにより、人件費を総合的に見直していく。

学校給食費の未納問題その後

質問 平成29年度中に、児童手当からの振替手続きはとられたか。効果額は。

教育長 平成30年2月に支給した児童手当を充当した世帯は3世帯で5万9920円。その結果、平成29年度の未納額は、11世帯31万2045円である。



《Q》 財源確保で管路耐震化更新計画を早めるべきでは

《A》 企業債を借り入れ、早期に進めていく

中嶋 勝 議員（公明党）



安心安全で美味しい水を将来にわたって

法定耐用年数40年を経過した配管が多くなっており、漏水も起きている現状である。

質問 40年を超えた配管（老朽化率）はどれくらいか。

市長 平成28年度末で16.4%。全国平均は15.0%である。

質問 平成26年度以降の漏水件数は。

市長 現在まで17件である。

質問 昨年12月から6件の漏水が頻発しているが、原因・管種・経過年数は。

市長 土壌の経年変化や管の老朽化によるもの。管種は全て硬質塩化ビニール管で、41〜46年経過していた。

質問 財源の確実な確保で計画を早めるべきでは。

市長 企業債を計画的に借り入れながら、管路の耐震化を早期に進めていく。

質問 近年の災害での被害を、今後どう反映させるか。

市長 耐震適合率が高いほど、復旧が早いことから着

実に耐震化を進めていく。犬を飼う人のマナーとモラル向上について

質問 飼い主が片付けない犬のフンに対し、黄色のチョークであえて日付等マークして飼い主に警告する取組みを行ってはどうか。

市長 先行自治体の事例を調査研究していく。

質問 リードを外している飼い主がいる。対応は。

市長 その都度現地で指導している。巡回や看板の設置等をさらに進める。

質問 ドッグランの設置を検討してはどうか。

市長 考えていない。



イエローチョーク作戦



《Q》 駐車場出入口等の見直しで利便性・安全性の向上を
《A》 出口の増設や車両の駐車位置の見直しを検討



富永 訓正 議員（公明党）

スイミングセンターの
駐車場対策について

駐車場が満車で、路上で入庫待ちをすることがある。一般車・歩行者のスムーズな通行と安全への配慮を。

質問 施設駐車場の出入口直近にはバス停留所があり、入庫待ちや送迎車両等が停車し、バスの正常運行や一般車両の通行に支障が生じる場面が見受けられる。また、利用可能な近隣小学校・特別支援学校・動物公園駐車場があるが、施設利用者はどう周知しているか。

教育長 路線バスや一般車両の通行を妨げることのないよう、隣接する施設の駐車場への誘導を迅速に行うよう努め、周知していく。

質問 バス停留所付近での『待機・駐停車禁止』、駐車場の『満車』、他の駐車場への『迂回案内』など利用者にとって見やすく駐車場の現況を把握しやすい看板・表示板等の設置をしては。

教育長 バス停付近への駐



スイミングセンターの
駐車場出入口付近とバス停

停車禁止、駐車場の状況と他の駐車場への誘導に関する表示をよりわかりやすくするよう取り組んでいく。

質問 駐車場の構造、配置、出入口位置等の見直しにより利便性・安全性の向上が期待できると考えられるが。

教育長 利便性と安全性の向上へ、駐車台数を確保しつつ、満車時に周辺駐車場への円滑な誘導で路上への駐停車が抑止できるよう、出口の増設や車両の駐車位置の見直しを検討していく。

■その他の質問
「命を守る防災・減災のため」



《Q》 風水害時のタイムライン計画はどこまで進んだか
《A》 時系列を含めた内容に整理していく



石居 尚郎 議員（公明党）

水害・土砂災害から
どう命を守るか

質問 タイムラインの計画はどこまで進んだか。

市長 地域防災計画において、タイムライン的な考え方に基づく段階的な水防活動態勢をより強化していくため、時系列を含めた内容に整理していく。

質問 地区防災計画の作成や作成準備状況は。

市長 こうしたマニュアルの作成支援や、地域住民、関係機関との連携を深めていく。地区防災計画の必要性や対象地域など、地区防災計画作成の主体となる地域住民の皆様と協議していく。また必要に応じて地区防災計画の啓発にも取り組む。

質問 多摩川流域の自治体

同士の連携は。

市長 河川管理者である「京浜河川事務所」及び、東京都を含めた「多摩川上流部 大規模氾濫に関する減災対策専門部会」において、国の水害対策に関する情報を共有している。他に、水防訓練や、啓発事業などの意見交換を行い、連携強化に努めている。

認知症ケアプログラム
推進事業の導入について

質問 東京都が進める「認知症ケアプログラム推進事業」を羽村市は取り組むか。

市長 今後、市内の介護サービス事業所への事業内容の周知、事業への参加意向などを十分確認しながら、事業実施についての検討を進める。



羽村市地域防災計画



《Q》各学校の体育館に、冷房機の設置など対策が必要では
《A》今後も猛暑が想定され冷房機の導入など検討する

西川 美佐保 議員（公明党）



近年の異常な暑さ対策

質問 各学校の体育館は、災害時の避難所でもあり、今後、冷房機の設置など対策が必要では。

教育長 今後も猛暑が続くことが想定され、冷房機の導入など、暑さ対策を検討していく。

学童期などの子育てをさらに応援する取組みを

①学童クラブについて

質問 広い場所で子どもたちが遊べるよう、学校での学童クラブ設置を検討し、可能などところから設置しては。

市長 「子育てのしやすさで輝くまち」の実現に向け、学童クラブの需要を適切に見極めながら、増設や他の公共施設の活用等総合的に検討する。

質問 学童クラブに日曜、祝日、夜間等の実施を望む声があるが、対応する考えは。

市長 市民ニーズを十分に見極め、課題や効果を整理した上で検討する。

質問 発達に課題のある子



災害時に避難所となる体育館
(防災訓練時の様子)

どもたちへの学童クラブでの対応に対し、幼稚園・保育園等と同様に巡回相談ができる体制が必要では。

市長 教育委員会や学校と連携・調整を図りながら、必要に応じて、学童クラブ支援員への助言も行っていく。

②不登校の子ども達への対応について

質問 学校適応指導教室（ハーモニースクール・はむら）のことが、保護者にあまり知られていない。先生や保護者に直接PRする機会が必要では。

教育長 教育相談を通して、必要となる児童生徒徒に直接伝える。



《Q》気象観測装置「ポテカ」の導入を検討すべき
《A》費用対効果なども含め、様々な面から研究する

高田 和登 議員（新しい風）



気象観測装置「ポテカ」の導入を

質問 市独自で、雨量、気温、湿度、気圧、風向風速、日射などの気象情報を把握すべき。

市長 今後、猛暑時の注意喚起を行う際にも必要となることから、測定方法や機器について検討する。

質問 最近の局地的豪雨ではアメダスの青梅観測所と羽村では気象が異なるが、どう対応するか。

市長 降雨予報は気象庁予報官から、直接、最新情報を収集して対応している。

質問 「ポテカ」はインターネットでも気象情報を市民に提供し、設置場所も電源



気象観測装置「ポテカ」と気象計部分の拡大

が不要のため、容易である。羽村市でも設置を検討すべきと考えるが。

市長 今後、提供サービスの内容、情報の活用方法などや、当市の地理的環境に合致するものであるか、また、費用対効果なども含め、様々な面から研究する。

新版「防災マップはむら」について

質問 「市章」が横長に変形しているが。

市長 今後、増刷や今回の修正等に合わせて調整する。

ラジオ体操の普及を

質問 健康寿命を延ばすため、昔から馴染んだ「ラジオ体操」の普及を。

教育長 運動のきっかけづくりに適しており、市民のスポーツ機会の拡大に努める。

質問 市でもNHK巡回ラジオ体操収録の申し込みを。

教育長 今後もこうしたイベントの招致を検討する。



《Q》洪水に備え河川整備や堤防かさ上げ等の対策強化を
《A》宮の下上流部堤防整備計画の早期具現化を働きかける

小宮 國暉 議員 (新しい風)



市の水害対策強化に向けて

質問 羽中4丁目付近は平成19年9月の台風9号により、浸水被害を受けた地域である。洪水ハザードマップで示されている洪水・浸水想定区域を中心に、インフラ整備を今後強化する計画はあるか。

市長 平成20年度、水上公園下の貯留槽に排水ポンプを1台増設し那賀樋管のかさ上げなどを実施。また、間坂交差点歩道拡幅工事に伴い、新たに雨水管を布設する計画を東京都と調整し、雨水流出の軽減を図っていく。

質問 洪水に備え、河川整備や宮の下運動公園上流部の堤防等の対策強化を。

市長 国土交通省が策定した「多摩川水系河川整備計画」は堤防の改修などのハード対策が示されている。早期具現化に向けて働きかけに努める。

質問 羽加美四丁目(根がらみ前水田)付近で洪水被害が発生した場合、市の水



平成19年9月の台風による
羽中4丁目付近浸水被害

源機能が失われる危険性がある。緊急時に東京都から水道の供給を受けることになっていくが訓練等を実施したことはあるか。

市長 災害時におけるバックアップ用の水を確保するために、「東京都と羽村市との間における暫定分水に関する協定」を締結。東京都小作浄水場から直接第1・第2配水場に連絡管を備え、毎年東京都の職員と通水の確認、点検を実施している。

■その他の質問「さらなる市民活動の充実に向けて」「子どもたちの心の教育の充実について」



《Q》人権侵害で地権者が国や都・警察に訴えた。対応は
《A》国・都から連絡を受けた。誠実に真摯に対応している。

山崎 陽一 議員 (世論)



区画整理撤回要求第46弾

工事に苦しむ地権者がいる

質問 目の前で騒音・振動の長期工事。体調の悪い家族がおり、東京都区画整理課に相談。市に連絡があった。どう対応したか。

市長 都から連絡があり、「改善に取り組み、ご理解されるよう努める。無視することは決してない」と報告、了承いただいた。

質問 工事関係者の、地権者への人権侵害があり市長に面談を求めたが拒否された。警察や国土交通省に相談。担当者が市に電話連絡した。どう対応したか。

市長 国からの照会に対し、当該権利者に市職員が誠意を持って丁寧に対応していると報告、了承された。理解

されるよう真摯に取り組む。

質問 区画道路は現状より移動。地権者は使えるか。

市長 築造する区画道路を従前の土地の方が利用できるように配慮、整備する。

質問 3回にわたり家屋調査を強要された。市長の言う協議移転に矛盾しないか。

市長 家屋調査の基本的流れに沿った説明の訪問であり、強要ではない。

質問 事業は平成33年度で終了する。国・都と計画変更交渉を継続中か。

市長 事業進捗や財政状況等を勘案しつつ、協議を進めている。平成32年度以降を目的に、示していく。

行政文書への西暦併記を

質問 行政文書への年号表記は法律での規定か。

市長 法令に規定は無く各官公庁の判断。羽村市は慣行で原則元号。西暦併記も可能。



道路予定地に貴重な縄文土器



《Q》羽村市内の生産緑地面積の5年間の推移は

《A》過去5年間で1.56ヘクタール減少している

橋本 弘山 議員（新国会）



羽村市内の農業の諸課題について

質問 生産緑地制度において2022年問題とはどのようなものと認識しているか。

市長 1992年に生産緑地指定を受けた農地が30年を経過し、所有者が一斉に自治体で買い取りの申し出を行うことにより生産緑地が減少する懸念のことである。

質問 法改正で特定生産緑地制度が導入されたが、この制度をどう捉えているか。

市長 将来的な都市計画に生かしていくべきと考えるが、この制度は買い取り申し出の時期を10年延長す

る制度で、本人の意向を確認し、市が指定を行うものである。懸念される生産緑地の減少については羽村市での影響は少ないと見込む。今後とも地産地消の促進や、都市計画の中で緑と調和した都市環境の保全の面から緑地保全に努めていく。

熱中症対策について

質問 今後、猛暑対策、熱中症対策は必須であるが、羽村市としての取り組みは。

市長 市民への適切な情報提供を図り、自らが注意し、未然に防止できるようにさまざまな機会を捉え、熱中症予防の普及啓発、注意喚起に取り組んでいく。また、各地の暑さ対策の事例等については、関係部署と連携しながら今後研究していく。

■その他の質問 「羽村市におけるペットの災害対策について」



市内の生産緑地指定を受けた農地



《Q》幹線道路の石垣、崩れる危険性は

《A》精密で強固に構築されているが

富松 崇 議員（新国会）



震災時の幹線道路等について

質問 市内の幹線道路、特にJR青梅線西側にはいたるところで玉石の石垣がみられる。震災時に崩れる危険性について、市の考えは。

市長 石積み等の強度に関しては、特に基準はなく、石工の技術によって、精密で強固に構築されている。しかし、ブロック塀や万年塀と同様に、適切な維持管理を行わないと、地震等で崩れる可能性が高くなると捉えている。

質問 ブロック塀等の倒壊にまきこまれないよう、児童・生徒に対しての指導は。

教育長 地震が発生した場合には壁などに近寄らず近

くにしている場合は離れること、改めて自分の通る通学路にブロック塀などの危険な箇所がないか、確認しながら歩いてみることを指導している。

児童虐待防止に向けた取り組みについて

質問 児童虐待防止に向けた取り組みを、どのように図っているか。

市長 「羽村市要保護児童対策地域協議会」を設置し、福祉医療、教育、警察などの関係機関等と連携し、児童の虐待防止、早期発見、早期対応を図っている。また、昨年度設置した「子育て世代包括支援センター羽っぴー」では、妊婦の全数面接や、乳児家庭全戸訪問事業を行うことにより、妊娠・出産に伴う育児不安を解消し、児童虐待防止に取り組んでいる。



市内の玉石の石垣



《Q》羽村・昭島両市長が出席する市民説明会を

《A》改めて市民説明会は開催しない

門間 淑子 議員（市民ネットワーク「いきいき広場」）



昭島市の可燃ごみ
受け入れは慎重に

質問 4月19日の説明会に
対して、昭島市がどのように
受け止めたか聞いていますか。

市長 聞いていない。

質問 これまでの説明で、
周辺住民の理解が進んだと
認識しているのか。

市長 羽村・瑞穂両協議会
から西多摩衛生組合に対し、
ごみ量増加に伴う要望を付
け、一定の理解をすとした
書面が出されていることから、
周辺住民の理解促進が図ら
れていると捉えている。

質問 青梅市、福生市、瑞
穂町では、住民への情報提
供はどのように進められて
いるか。

市長 広報紙とウェブサイ
トで情報提供している。

動物公園通りの

一層の安全対策を

質問 東芝青梅工場跡地の
物流倉庫の利用が開始され
ると、大型車の通行が懸念
される。速度制限・大型車
規制が継続するよう、東京



速度制限・大型車規制継続中の動物公園通り

都公安委員会や福生警察署
へ要請していくべきではな
いか。

市長 動物公園通り改修工
事の際、地元町内会や小中
学校PTAから規制継続の
要望があり、福生警察署に
要請した結果、現在も規制
が継続している。変更や解
除は、周辺住民や沿道事業
者の意見を踏まえて判断さ
れるが、市内企業の物流の
重要な路線であり、さまざ
まな観点から検討して行く
必要がある。



《Q》つきまといなどの犯罪が多い原因は何か

《A》原因の特定には至っていない

印南 修太 議員（新政会）



女性や子どもに対する
犯罪対策について

質問 羽村市が福生署管内
で前兆事案が一番多く発生
している原因は何か。

市長 前兆事案（子どもや
女性に対する「声かけ」や
「つきまとい」など）は、場
所は道路や公園等が多く、
時間帯は夕方から夜に多く
発生しているが、福生警察
署では原因の特定には至っ
ていない。

質問 小学校の通学路への
防犯カメラ設置数が、福生
署管内で最も少ないことの
影響はないか。

市長 防犯カメラの設置台
数のみで犯罪発生への影響
があるかどうかを判断する



小作駅周辺をパトロールする市民ボランティア

ことは難しいと考える。

コミュニティバス

はむらんにについて

質問 今後、羽村駅西口駅
前に、はむらん以外の公共交
通が運行する予定はあるか。

市長 平成18年にタクシー
の乗降スペースを設けるな
ど、駅前広場整備の基本設
計案を取りまとめたが、交
通環境も変化しているので、
再度具体的な設計を行って
いきたい。

質問 今後5年間で急速充
電器や蓄電池など、電気バ
スに新たにかかる費用はあ
るか。

市長 急速充電器について
は、市の負担として1千万
円程度かかるものと見込ん
でいる。

質問 電気バスを現在の羽
村中央コースのほかに、羽
村駅西口を經由して福生病
院までのコースを運行でき
ないか。

市長 充電容量の関係から
難しいが、検討の
参考とする。



《Q》オスプレイの飛行高度が低すぎると認識しているか
 《A》低く飛んでいるとの指摘を把握している

鈴木 拓也 議員（日本共産党）



CV 22 オスプレイ

オスプレイの訓練・配備に
はつきり反対を

質問 オスプレイが、市街地上空での旋回訓練を繰り返している。市の見解は。

市長 オスプレイは6月23日以降長期間とどまり、自治体への情報提供もないまま、飛行を繰り返している。基地周辺での飛行を最小限にすることなどを要請している。

質問 飛行高度が低すぎると認識しているか。

市長 市に寄せられた「低く飛んでいる」との指摘を把握している。ご意見はその都度、国に対し申し入れをしている。

質問 CV 22オスプレイの

事故率は大変高い。訓練・配備にはつきり反対の態度をとり、実現にむけて努力すべきではないか。

市長 10月1日に5機が配備されるとの情報提供を受け、新たな段階に移行している。より一層強力に国や米軍に対する様々な対応に努める。

介護保険は
どうなっている？

質問 要支援1・2の方に対するサービスが、自治体ごとに定めるサービスに変わった。十分なサービスを受けられているか。

市長 それぞれの方に必要なサービスをご利用いただいていると、とらえている。

「昭島市のごみ受け入れ反対」の声にどう応えるのか？

質問 昭島市のごみ受け入れについて、市や西多摩衛生組合で、その後、決まった事はあるか。

市長 決定した事項はない。



《Q》生活困窮者にクーラーと冷房費を給付すべき
 《A》国に対して、給付するよう働きかける考えはない

浜中 順 議員（日本共産党）



熱中症対策の強化を

質問 今年度新たな生活保護受給者は、冷房器具が給付となったが、その他の生活保護受給者や生活困窮者に冷房器具と冷房代（電気代）の給付を市は国に働きかけるべきと考えるがどうか。

市長 冷房器具や冷房代の給付を国に働きかけることや、市で対策を立てる考えはない。

質問 小中学校の体育館に冷房を設置すべきでは。

教育長 冷房機の導入など、今後検討していく。

公共施設の改修の充実を

羽村市は、周辺自治体と比べて公共施設の老朽化率が高い。公共施設を活用できるかどうかは、市民の日常生活にとつて重要である。

質問 水道の配水管の破損事故がここ数年、毎年数件あると聞く。地震時の断水等を考え、配水管の耐震化率（20・5％）の低さや漏水対策を早急に改善すべきと考えるが。



水道事務所

市長 20・5％は水道管路全体に占める耐震性を満たす管路の割合で、近隣自治体と比較すると低い割合を示している。「水道管路耐震化更新計画」等に基づき、引き続き着実に取り組んでいく。

質問 今年度は、財政事情が厳しいために学校や道路などの改修・修繕費が大きく削減されたが、日々の生活に支障を来すので、削減すべきではないのでは。来年度は、今年度削減分も配慮して、元に戻すべきでは。

市長 総合的に勘案しながら、優先順位を付けて予算計上していく。



《Q》 学校閉庁日の試行結果は

《A》 8月の3日間 3つの小学校で実施

水野 義裕 議員 (羽村 21)



各小中学校に設置されたタイムレコーダー

教育委員会の施策については。質問 「学校閉庁日」の状況は。教育長 羽村東小、富士見小、松林小学校の3校で、本年8月13日(月)～15日(水)の3日間試行した。実施にあたっては、各学校が閉庁日実施に関する文書を作成し、保護者や地域に周知した。この3日間は、原則として教職員は出勤せず不在となるので、緊急な用件がある場合は教育委員会へ電話連絡するように学校が作成した文書に記載し、教育委員会で緊急対応を図るようでしたが、3日間を通して問合せ等はなかった。

質問 今後どうするか。教育長 今後、成果や課題を分析し、次年度の実施の可否や実施する場合の日数等を検討していく予定。

■その他の質問 「羽村駅西口土地区画整理事業の今後は3」 「策定した計画の評価や公開などについて」

質問 今後どうするか。教育長 今後、成果や課題を分析し、次年度の実施の可否や実施する場合の日数等を検討していく予定。質問 学校へのタイムカードの導入時期とその活用は。教育長 本年8月末までに各小中学校にタイムレコーダーを設置し、9月から運用を開始した。在校時間のデータについては、教員自らタイムカードを打刻することで、教員が在校時間に対する自己管理意識を持つ。同時に、学校管理職は教員の在校時間を把握し、校務改善やメンタルヘルスケアの充実、長時間労働の抑制に必要な指導・助言を行うために活用する。



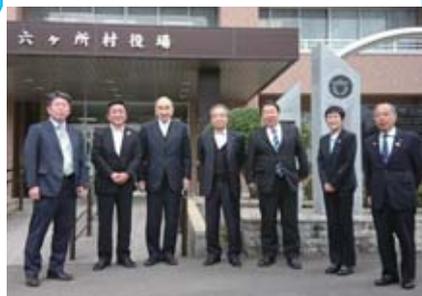
議会 活動アルバム



10月18日、総務委員会が学校教育について八王子市立高尾山学園を視察しました。



10月16日～18日。経済委員会が商業及び観光振興について石川県小松市、富山県高岡市・富山市を視察しました。



10月16日～17日。厚生委員会が市民の健康管理及び環境保全について青森県六ヶ所村・青森市を視察しました。

行政視察について詳しくは、「ぎかいのトビラ」2月1日号に掲載する予定です。

議会活動報告

市議会議員は、定例会や臨時会のほかにも、各々が所属する委員会や一部事務組合等に関係する会議や視察、研修などにも出席しています。

平成 30 年 8 月 1 日～ 10 月 31 日の主な活動

8 月

- 2 日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会
第 1 委員会
- 10 日 平成 30 年度東京都市議会議長会定例総会
- 21 日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会正
副会長・委員長東京都・国への陳情行動
- 27 日 第 6 回議会運営委員会

9 月

- 4 日 第 7 回議会運営委員会
第 3 回羽村市議会（定例会）初日
第 7 回広報委員会
- 6 日 第 3 回羽村市議会（定例会）2 日目
- 7 日 第 3 回羽村市議会（定例会）3 日目
- 10 日 一般会計等予算審査特別委員会（補正予算）
第 10 回議員全員協議会
- 11 日 第 3 回羽村市議会（定例会）4 日目
第 3 回総務委員会
- 12 日 第 3 回厚生委員会
- 13 日 第 3 回経済委員会
- 18 日～ 20 日 一般会計等決算審査特別委員会
- 26 日 第 8 回議会運営委員会
- 27 日 第 8 回広報委員会
- 28 日 第 3 回羽村市議会（定例会）最終日

10 月

- 3 日 羽村市議会議員と北杜市議会議員との交流会
- 4 日 行政視察受入れ（あきる野市議会）
- 9 日 第 9 回広報委員会
- 10 日 行政視察受入れ（長野県岡谷市議会）
- 11 日～ 12 日 第 80 回全国都市問題会議
（新潟県長岡市）
- 15 日 総務委員会行政視察（福生市）
- 16 日～ 17 日 厚生委員会行政視察
（青森県六ヶ所村・青森市）
- 16 日～ 18 日 経済委員会行政視察
（石川県小松市・富山県高岡市・富山市）
- 17 日 総務委員会行政視察（日野市）
行政視察受入れ（愛知県日進市議会）
- 18 日 総務委員会行政視察（八王子市）
- 22 日 羽村市議会議員研修会（自治法改正による
自治体の内部統制強化の今後について）
- 23 日 第 29 回東京都道路整備事業推進大会
- 29 日 平成 30 年度西多摩地区議長会研修会
西多摩地区議長会定例会議
- 30 日 行政視察受入れ（鹿児島県始良市議会）
平成 30 年第 2 回東京たま広域資源循環組
合議会（定例会）



10 月 3 日、北杜市で北杜市議会議員との交流会を行いました。



9 月 28 日、議会改革推進委員会から議会改革についての後期報告が出されました。（左から山崎委員長、富永副委員長、小宮副議長、馳平議長）

しぎかいカレンダー

● 12月定例会の予定 ●

日	月	火	水	木	金	土
11/18	19	20	21	22	23	24
				陳情 ^〆		
25	26	27	28	29	30	12/1
	議運					
2	3	4	5	6	7	8
		本会議	本会議	本会議	本会議	
9	10	11	12	13	14	15
		予特 (補正)	常任委	常任委		
16	17	18	19	20	21	22
			本会議			
23	24	25	26	27	28	29
30						

- 陳情^〆…請願・陳情の12月定例会審議予定分の締切
 - 議運…議会運営委員会
 - 常任委…常任委員会（総務、経済、厚生）
 - 予特（補正）…一般会計等予算審査特別委員会
- * 会議の予定は変更になる場合があります。
詳細は議会事務局までお問い合わせください。

議会を見よう！知ろう！

～次の定例会は 12月～

本会議でどんなことがどのように話し合われているのか、様々な手段で知ることができます。皆さんの暮らしに直結していることばかりです。ぜひご覧ください。

1 議場で傍聴 ーライブで！

当日、直接議場へおいでください。

2 ケーブルテレビで生中継

TCN多摩ケーブルネットワークで、本会議の様子を生中継でご覧になれます。放送日は横のカレンダーをご参照ください。

3 インターネットで録画中継

開催日の3日後から、インターネットで録画中継を見ることができます。

4 会議録で読む

議会終了後2か月程度で会議録ができあがります。冊子または、羽村市公式ウェブサイトから見ることができます。

羽村市公式サイト

<http://www.city.hamura.tokyo.jp/>

羽村市議会

検索



編集後記

第六次議会改革推進委員会で検討してきた議会報告会を7月にタウンミーティングとして実施しました。市民の皆さまに市議会をもっと身近に感じてもらうこと、市民の皆さまの声を聞くことを目的とした羽村市議会タウンミーティング。議員それぞれが他自治体の議会報告会を視察し、参考にしながら羽村らしさも加えた内容となりました。周知の方法や日程・会場の選択等、いろいろと反省点もありましたが、今後の開催につなげていきたいと思えます。

これまで、表紙と特集は市民インタビューを掲載していましたが、今回は羽村市議会タウンミーティングの特集記事を掲載しました。

(富松)

【広報委員会委員】

小宮 國暉 (委員長)
山崎 陽一 (副委員長)
浜中 順 印南 修太
富松 崇 中嶋 勝
大塚あかね 西川美佐保

発行／羽村市議会 編集／広報委員会

〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1 Fax 042(555)0889

Tel 042(555)1111 (内線412～414、416)



「ぎかいのトピラ」は再生紙を使用しています。